

どんびま

2013年8月8日発行

発行者 椛の湖農業小学校

音頭与三郎

民謡「音頭与三郎」は坂下の盆踊り唄である。「踊りゃそめたが音頭は来ぬか 音頭与三郎はまだ来ぬか」と始まり、「音頭与三郎来たこた来たが・・・」と前の歌詞の中の言葉を継いで行く言葉遊びのような100番を超す歌詞が残っている。当然ながら、「木曾節」や中津川の「ほっちょせ」と同じ歌詞もある。

与三郎は実在した人物で美声の優男だったと言われている。

「音頭与三郎」はしばらく踊られることも無く、歌える人も2・3人になっていたのを、私たちの仲間がフォークソングとして復活させた。高石ともやが歌ってレコードにもなった。

平成になって、テンポアップし、踊りも新しく振付された「新・音頭与三郎」が若い人たちに受け入れられている。 (草)



8月授業日(椛の湖キャンプ)のご案内 (1)

8月24日(土)～25日(日)	椛の湖オートキャンプ場
参加費 大人・生徒 3000円	幼児 1500円 (1日のみ参加の場合も同料金)
キャンプサイト料金(定員5名)	5025円
別途 貸テント料金	3500円～*要予約
電源使用料	1000円
ウッディハウス使用料(1家族)	10000円

☆ウッディハウスは、申し込み多数の場合(7月の集計では14家族)、1棟に3～4家族一緒に泊まっていただくこととなります。そのつもりでお願いします。貸しテント(数に限りあり)、貸し毛布の申し込みなどあったら、はがきに書いてください

◎ お問い合わせは Tel0573-75-4417 ケイ1090-5110-9362(山内)まで

◎ 返信締め切り **8月17日 厳守**

～とくちゃんの農小レポート～

ドッキリするような案山子作りに挑戦

田んぼの稲はすくすく育っています。原始的では有りますが昔の農家に倣って、今年も案山子（かかし）を作り、鳥や獣の被害を防ぎます。でも最近は稲穂を食い荒らす スズメ（実は益鳥？）の数が、極端に減ってきているのは一寸気にかかります。

1 午前の授業。 畑仕事は ジャガイモ、人参、大根の収穫と草取り作業。

畑に行く前に、飯盒飯用のお米を各グループ4杯ずつ洗いました。

2 飯盒炊爨。 各グループごとに、横に渡した鉄棒に掛けた飯盒を、U字溝の中で火を付けて炊きあげました。火が立ちあがるのに少々時間がかかりましたが、どのグループも失敗がなく上手くできました。

3 昼食。 カレーライス、マカロニサラダ、トマト、キュウリの辛子漬け、ささぎの和えもの。各グループごとに飯盒のご飯を盛り、カレーをかけて食べました。農小では原則として昼は郷土食若しくは行事食ですが、生徒の強い要望により以前から7月はカレーとなっています。その代わりにご飯は飯盒で炊きます。有っては成らない事ながら万一災害などに遭遇した時、電気が無くてもご飯が出来る事を、体験出来た ことと思います。

4 かぶと虫運動会。 昼休みを利用して、5月に持ち帰って育てたカブト虫を持ち寄り、木登りによる運動会が行われ、33名の参加者があり、2組に分かれてトーナメントで競争しました。飛び立つ虫を守る網も用意されました。成績は次の通りでした。

1位1G佐野、2位3G安田、3位2G奥間、4位3G水島、5位4G岩田、1G渡辺、1G山本、5G金沢の4名、以上の皆さんでした。入賞者にはトマトが賞品となりました。今回成虫に成らなかった人は、8月にも運動会を行いますので是非参加して下さい。尚これは各自の飼育観察研究の一環ですので、お店で買った虫での参加はしないようにして下さい。

5 キャンプの相談。 8月の一泊でのキャンプについて、生徒は土曜日のよるの出し物について相談しました。父兄は遊び（土曜午後）、食事（土曜夜）、物作り（日曜）の3部門に夫々のグループ代表により、中身について相談しました。

6 午後の授業。 案山子（かかし）作り、1家族1体宛の材料（木十字）と藁が支給され、準備してきた用具や衣装を使い、家族が協力して仕上げました。今年は田んぼの位置が変わりましたが、例年評判の高い農小の案山子ですから、良き被写体を求めて多くのカメラマンが来てくれる事と思います。今月未完成の家族は、8月に時間を見つけて25日の午前中までに完成させて下さい。人気投票に依り上位には表彰があり、賞品も出ますので頑張ってお立派な物を仕上げてください。

7 持ち帰り。 ジャがいも、人参、大根、わけぎ種（宮下先生提供）

～とくちゃんのちょっと一言～

♪♪山田の中の本足の案山子 天気の良いのに蓑笠つけて 朝から晩までただ立ちどうし歩けないのか山田の案山子♪♪ こんな童謡知ってるのは古い奴だと思いでしょが・・・昔は電気牧柵も空砲装置も、キラキラテープさえも無かった頃、農家の人達は本気で案山子に頼る時代でした。夜遅くに酔っぱらって帰る道すがら、田や畑に立っている案山子に、一瞬ドキッ！

とした事は懐かしい思い出となって残っています。今年も傑作を期待しています。

8月授業日(栴の湖キャンプ)のご案内 (2)

日程① 8月24日(土)

- 8:30~ 9:00 受付 ☆時間に間に合うように、早めにお出かけください。
- 9:00~ 9:15 始めの会
- 9:15~11:00 授業 **農作業** (白菜の種まき かぼちゃの収穫 草取りほか)
弁当作り、トマトジュース作り ハム作り 夕食の下ごしらえ
- 11:00~11:30 川上川へ移動(川遊び希望の家族のみ)
- 11:30 昼食(おにぎり弁当)
~14:30 (自由参加) **川遊び 鱒つかみ**
- 14:30~15:00 栴の湖オートキャンプ場へ移動
- 15:00 キャンプ場チェックイン
~16:15 宿泊準備 テント設営
- 16:00~ **カブトムシ運動会第2ラウンド**
- 16:30 全員集合。(栴の湖オートキャンプ場広場)
夜店(夕食)の準備
- 17:00~ **夜店開店**
- 18:30~ **カブトムシ運動会表彰式**
キャンプファイヤー グループ出し物 1G=宝探し
3G=クイズ
5G=ゲーム
~21:00 4G=ふやし鬼
2G=肝だめし
- 21:00~22:00 風呂(有料 大人400円 小人200円)

日程② 8月25日(日)

- 6:00 起床
- 6:30~ 8:00 朝食準備 朝食 夜店と食事の後片付け
農小に移動(ウッディハウスは荷物を搬出し、チェックアウトすること)
- 8:00~11:00 (自由参加) **もの作り** 染め物 絞り染め(Tシャツなど)
木工 自由課題
布草履(ぬのぞうり)
竹細工 水鉄砲 箆など(作品見本あり)
紙すき 牛乳パックでハガキ作り
(希望者に) **Tシャツのシルクスクリーン**「たがやしひとなる」印刷
※案山子のまだ出来上がってない家族は仕上げてください。
- 11:00~12:00 後かたづけ 案山子コンクール投票 案山子立て
- 12:00~12:30 昼食(流しそうめん)
- 12:30~12:40 終わりの会
- ★キャンプサイトのチェックアウトは13:00(時間厳守)でお願いします。

★もの作りの終わってない方は、作業を午後も続行していただいてもかまいませんが、後かたづけは責任をもってキチンとお願いします。

☆「川遊び」は自由参加です。それぞれの親さんの責任でもって参加してください。

☆「もの作り」も自由参加です。もちろん、何もしないでボーッとしているのもO.K.

☆Tシャツのシルクスクリン印刷は特製の「たがやしひとなるTシャツ」を作ります。希望する人は、それぞれのサイズの白または色の薄い物（インクはグリーン）を持参してください。新品のものは一度洗濯をして糊を落としてくることをお忘れなく。

【もの作りの持ち物と注意事項】

- 染物希望の方（先着 50 名）
エプロン ゴム手袋 はさみ ハンガー
染める物（綿のTシャツ1枚程度 ★一度洗って糊を落としてくること）
 - 木工・竹細工希望の方
大工道具 **ナイフ**（切出し、肥後の守などの小刀を。**カッターナイフは×危険です。**）
 - 布草履希望の方
4cm×1.5～2mの布（薄手の木綿など。短い布を継ぎ足してもかまいません）を縦半分に折り、ミシンで真ん中を縫って裏返し1cm幅の紐を20本くらい準備してください。ここまで準備してないととても仕上がりにません。
 - 紙すき希望の方
タオル＝2～3枚・さらし又は日本手ぬぐい1枚・新聞紙2日分
牛乳パックは3日位水につけておき、表面のフィルムを裏表ともはがし、手でちぎって、水と一緒に（水500mlに牛乳パック半分が目安）ミキサーにかけたものを絞ったもの（乾燥させてもよい）を持参して下さい。押し花などあれば最高
- ★材料準備のため、もの作りの希望コースは必ずご記入ください。ただし、希望が集中した場合は先着優先で変更していただくことがありますので、ご了承ください。
各自の材料の準備、道具、持ち物を忘れないで下さい。

【キャンプの持ち物と注意事項】

- 食器（バーベキュー用皿・コップ・スプーン・箸・水筒など）
 - 寝具（シュラフ・タオルケットなど）*貸し毛布あり（200円）要予約
 - イス・テーブルセットがあると快適・便利
 - 懐中電灯・ペンライト（肝試しはペンライトでないと入場できません）
 - その他キャンプに必要なもの（虫除けスプレー・軍手など）
- **夜店はグループごとに担当**してもらいます。全員が交代でご協力ください。
- 1 グループ……フライドポテト・から揚げ
 - 2 グループ……イカ焼き・フランクフルト
 - 3 グループ……焼きソバ
 - 4 グループ……フルーツポンチ・冷奴・サラダ
 - 5 グループ……鱒塩焼き・焼きおにぎり・焼き鳥
- スタッフ…… 豚丸焼き、 生ビール(これだけ**有料**)

「椈の湖農業小学校開校」 20年を振り返って(1)

先月、低学年の男の子が小さなバッタを捕まえて、何か入れ物がほしいと言って来た。ペットボトルを捜して来てみると、その子はいなかった。下の畑を見ると、何人かの子どもたちがタモを持って虫捕りをしていた。その姿を見ながら、旧の農小を思い出した。

(旧農小で)田植えの時、ある子が「今年は収穫が少なかった。」と言った。『秋でもないのに・・・』と一瞬思ったあぼ兄の鼻っ先に虫籠があった。誇らしげに開けた中をのぞくと、カエル、イモリが12・3匹はいた。その子は田植えの田には入らず、ずっと虫捕りをしていたらしい。現在借りている田はパイプラインで水管理をする。つまり稲作のシーズン以外は水が流れない。旧農小で借りた田は、基盤整備はしてあるものの、椈の湖の余水がいつも流れ込んでいて、沼地の状態で小動物の宝庫だった。

虫捕りの子どもたちを見ながら、そんな出来事を思い出しているうちに、農小を立ち上げた当時の思いがこみあげてきた。

「農業小学校をやろう」と10人が発起人になった。内2人は地主の両安江氏で、畑を借りることから始まった。畑といっても、元は蚕を飼う為の桑畑で、養蚕が廃業となり何年も手付かずのまま、桑の木は背丈の倍以上に伸び、太いものは直径10cmを超えるものもあった。それを切り倒し、ミニバック(小型重機)で抜根・整地するのに1年かかった。開墾・整地作業には発起人の仲間たちが協力してくれた。中でもプロの重機オペレーターがボランティアで参加してくれたのは大助かりだった。休日はもとより休暇を取って頑張ったこともあった。

教室の畑に45aと広場(事務所・倉庫・トイレ・台所ハウス・雨天用の大型のハウスと運動場)に40aの土地と、昔の養蚕小屋を倉庫(農器具など)に借りた。国道からの進入路脇に、以前は牛の飼料を作っていた畑を借りて駐車場に整地した。大小2棟のパイプハウスは自分たちで建てたが、トイレと事務所・倉庫の建築・電気・水道・ガスなどは農協でお金を借りて業者に依頼した。この借金の返済のための資金稼ぎに、更に80aの畑を借りてサツマイモ、ダイコンなどの野菜を作って売ることになった。


1月、2月は雪と寒さで作業は捗らず、整地は3月の開校直前までかかった。台所ハウスは現在上の段で物置になっているハウスで、用具は近隣の小学校で使われなくなった回転釜や、高校で払い下げをしてもらった古い調理台などを集めた。電気は養蚕小屋まで来ていたが、水道は町役場が200m延長してくれた。子ども用の小さめの鎌・鍬などは町役場から、10台の一輪車は農協から寄付を受けた。多くの方々のお世話になった。

トイレ(男3女3)だけは間に合わせてもらったが、約10坪の事務所・倉庫は未完成のまま第1期の入学式を迎えることとなった。

資金稼ぎには余談が多くあり、「あぼ兄のほらふき大根」のブランドはこの時誕生した。開校前年の秋、NHKの昼の番組「どんどんプラザ」に合わせてその町村の物産を売る企画があって、名古屋のNHKで我夢土下座の歌の後に、試作したサツマイモを持って「来春から農業小学校をやります。」と出演したが、サツマイモは夜中に掘って運んだ。坂下町の産業祭の参加賞にダイコン3000本の大量注文を受けたり、先生スタッフがセールスマンになって売り歩いたりして、借金は契約の5年で返済した。

～かなちゃんの虫日記～

8月の初めにT T Tをしました（田んぼ探検隊）。

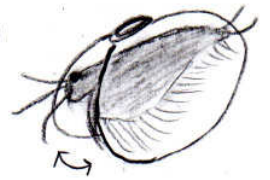
黒豆みたいなゲンゴロウ  をとろうとしたり、
あみに別のいきものがひっかかりました。 

4 mm くらいの2枚貝のようでした。

貝がらはすけていて、オレンジ色っぽい中身がまるみえです。

よくわからなかったので、1つ持ち帰ってメダカの水そうで飼うことにしました。

ある日、ふと見るとその貝はメダカよりも早くものすごいスピードで泳いでいました。泳ぎ方もなんだか変です。貝がらのつなぎ目の所を上にして、貝がらをおずかにパクパクとじたり開いたりして進んでいくのです！ 貝がらの中では、たくさんの足がワサワサと高速で動かしています。



これは、2枚貝ではなく、カイエビの仲間じゃないかなと思っています。

カイエビは、エビが現れる（るか昔から）
生きているそうです!!! そんな大先輩を今まで

知らなかったなんて... 土地球は奥深くおもしろいですね。